



9月2日から4日にかけて、富山ガラス工房で「富山マテリアルワークショップ」作品制作とプレゼンテーションが行われた。

「富山マテリアルワークショップ」とは・・・

富山デザインウエーブの一環として、毎年開催しており、県内外で活躍するデザイナーやクリエイターと、県内の職人や作家が協力して、富山の素材を活かした作品づくりに取り組むイベント。今回は、富山デザインコンペティション2015の入賞者3名のほか、富山大学芸術文化学部の学生2名が参加した。“富山の食を彩る”のテーマに対し、「ガラス」の素材を使って作品づくりと商品化に挑んだ。

富山ガラス工房スタッフと共に作品づくりに取り組む

富山ガラス工房に集合した5人のデザイナーは、工房スタッフにサポートされながら作品づくりをスタートした。制作には、デザイナー1人に3人の工房スタッフが付く。デザイナーはイメージスケッチや図面などを示し、ガラスについての豊富な制作経験を持つ工房スタッフと話し合いながら制作を進めた。

作品完成後に、工房内ミーティングルームでデザイナーが

自身の作品のプレゼンテーションを行い、作品コンセプトや制作意図、制作にあたって苦勞した点、反省点などを述べた。それぞれの作品に対して、アドバイザーの近藤康夫氏（近藤康夫デザイン事務所代表）及び富山ガラス工房館長の野田雄一氏（富山ガラス造形研究所教授、ガラス作家）が講評した。

作品は、10月3日（月）から10日（月）の8日間、富山県民会館で開催される「富山デザインウエーブ2016デザイン展」で展示される。

参加デザイナー（五十音順）

青木 美月 富山大学芸術文化学部4年生
浅野 皓貴（富山デザインコンペ2015とやまデザイン賞受賞）
河原つかさ 富山大学芸術文化学部3年生
西林 瑞基（富山デザインコンペ2015入選）滋賀県立大学3年生
馬淵 晃（富山デザインコンペ2015黒木靖夫特別賞受賞）

アドバイザー

近藤康夫／近藤康夫デザイン事務所代表